

平成 28 年 4 月 定例委員会々議録

1 日 時 平成 28 年 4 月 26 日 (火) 午後 1 時 30 分～

2 開催場所 会議室 301

3 出席委員の氏名

教 育 長	仲 野 孝	教育長職務代理者	齋 藤 和 夫
委 員	黒 川 優 子	委 員	山 崎 克 弥
委 員	中 野 信 男	委 員	秦 久美子

4 欠席委員の氏名 なし

5 説明のため出席した職員

教 育 次 長	山 田 公 一	主 幹	長 谷 川 智
学 校 教 育 課 長	堀 克 彦	子 育 て 支 援 課 長	宮 路 豊 行
社 会 教 育 課 長	宮 路 一 規	統 括 指 導 主 事	齋 藤 暁 史

6 本委員会書記

学校教育課 太 田 和 行 他 3 名

7 傍聴人

1 名

8 会議に付議した事件

諸報告

- (1) 教育長職務代理者の指名について
- (2) 行事報告及び行事予定
- (3) 教育長報告
- (4) 寄附報告

専決処分の報告について

- (1) 報告第 1 号 共催・後援の教育長専決報告
- (2) 報告第 2 号 燕市保育園条例施行規則の一部改正について
- (3) 報告第 3 号 燕市認定こども園条例施行規則の一部改正について

協議題

新規共催・後援申請について

議案

議案第30号 燕市スポーツ推進委員の委嘱について

議案第31号 燕市社会教育施設使用料見直し検討委員会設置要綱の制定について

議案第32号 平成28年度燕市立幼稚園、こども園、小学校及び中学校における学校評議員の委嘱について

その他

会議録

別紙のとおり

1. 開 会 宣 言 午後1時30分～
2. 会議録署名委員の指名 中 野 信 男 委 員
3. 諸報告
 - (1) 教育長職務代理者の指名について
 〈堀学校教育課長が報告〉
 - (2) 行事報告及行事予定
 〈仲野教育長、各課長が報告〉
 - (3) 教育長報告
 〈仲野孝教育長が報告〉

1 平成28年度所管する園及び学校の状況

- (1) 幼稚園・保育園等
 - 幼稚園(2園) : 57人
 - 保育園 : 公立(17園)で1,610人、私立(4園)で353人 計21園で1,963人
 - こども園 : 公立(2園)で215人、私立(2園)で453人 計4園で668人
- (2) 小学校(15校)
 - 特別支援学級を含む学級数は191学級、児童数は4,107人
- (3) 中学校(5校)
 - 学級数は75学級、生徒数は2,033人
- (4) 市教委全体
 - 27園、20学校で、園児、児童、生徒数は8,828人

2 平成28年度の主な事業

- (1) 学校教育課
 - ① 新規
 「Good Job つばめ推進事業」「ソーシャルワーカー派遣事業」「つばめキッズファーム事業」「自衛隊音楽隊楽器演奏指導事業」
 - ② 拡充
 「ICT教育推進事業」「長善館学習塾事業」「学校図書館充実事業」

(2) 子育て支援課

① 新規

「市立児童クラブ延長保育及び利用対象学年拡充事業」

② 拡充

「市立保育園保育室冷暖房設備設置事業」

(3) 社会教育課

① 新規

「生涯学習人材バンク制度再構築事業」「スポーツ推進事業業務委託」「公共施設使用料見直し検討事業」「学校開放受付業務委託」

② 拡充

「若者就労支援」「子どもの体力向上サポート事業」「家庭教育推進事業」など

3 全県教育長会議(4月18日)

■ 池田幸博教育長(前産業労働観光部長)から、重点方針について説明があった。

(1) 学ぶ意欲を高め、確かな学力を育成する教育の推進について

- 教育課程の適正な実施について、他市であった時数不足を例に言及された。
- 本市における実施状況に問題はないが、引き続き指導が必要である。
- 本県児童生徒の「平日1時間以上の家庭学習をする割合」は、小学校(71.1%)では全国平均(62.7%)を上回っているものの、中学校(61.9%)では全国平均(69.0%)を大きく下回っており、学習習慣が課題である。

(2) いじめ防止対策の推進について

- 「いじめ防止学習プログラム」や「中1ギャップ解消プログラム」を再確認するとともに、定期的な点検と見直しにより、実効性のある対策が必要である。
- 「いじめ見逃しゼロ県民運動」を始めて10年の節目を迎え、11月5日(土)には「深めよう 絆 県民の集い」を予定。保護者の参加もお願いする。

(3) 郷土愛を軸としたキャリア教育の推進について

- 本県の特徴は、「郷土愛」をキャリア教育の視点としているところである。
- 職場体験活動の実施日数を増やすなどして、体験活動を一層充実させること。

(4) グローバル化に対応した教育の推進について

- 小学校では、英語の基本的な表現に慣れ親しみながら、積極的にコミュニケ

ーションを図ろうとする態度を育成する授業づくりが求められている。

- 国は、今年度も英語教員指導力向上研修を実施することから、県では小・中・高校から教員を派遣し、英語教育推進リーダーを育成することとしている。

(5) 児童生徒の安全確保と防災教育について

- 事件・事故などは、いつでも発生するという緊張感が重要である。
- 学校管理下での事故などを防止するため、日常的な安全点検が求められる。

(6) 幼児教育の振興と充実について

- 県では、「子どもが輝く幼児教育の創造」の政策プログラムを作成し各園に配布した。5月12日(木)には、初めて「幼児教育フォーラム」を開催する。

(7) 教職員の非違行為(体罰を含む)の根絶について

- 平成27年度は28件の懲戒処分を行った。平成26年度と比べ件数が増加し、飲酒運転が3件、学校徴収金の横領等による免職事案も3件発生するなど重大事案が発生した。
- 教科書会社が検定申請中の教科書を教員等に閲覧させて謝礼を支払ったことが問題となった。本県では202人に聞き取りなどを行ったが、採択に影響を及ぼした事例はない。

(4) 寄附報告

〈No.1について宮路子育て支援課長が報告、No.2～5について堀学校教育課長が報告〉

4 専決処分の報告について

報告第1号 共催・後援の教育長専決報告

〈堀学校教育課長が報告〉

報告第2号 燕市保育園条例施行規則の一部改正について

報告第3号 燕市認定こども園条例施行規則の一部改正について

〈宮路子育て支援課長が説明〉

5 協議題

協議題 1号 新規共催・後援申請について

〈宮路社会教育課長が説明〉

6 議 案

議案第30号 燕市スポーツ推進委員の委嘱について

議案第31号 燕市社会教育施設使用料見直し検討委員会設置要綱の制定について

〈宮路社会教育課長が説明〉

議案第32号 平成28年度燕市立幼稚園、こども園、小学校及び中学校における学校評議員の委嘱について

〈堀学校教育課長が説明〉

審議の結果、全員異議なく承認された。

7 その他

○委員（山崎 克弥）

新規事業の「Good Job つばめ推進事業」とはどのような事業なのか。

○学校教育課長（堀 克彦）

基本的には中学生の企業訪問であり、商工会議所等と調整をして各事業所においてお願いをしている。キャリア教育の一環の取組とした職場体験事業である。

8 閉 会 午後2時29分

教 育 長 仲野 孝

会議録署名委員 中野 信男

会議録調整者 竹田 亮子
